

給与演習問題（解答）

- 1 令和3年7月1日に月額56,000円の借家に転居し、その翌日から四輪自動車を使用して片道14.0kmの経路で通勤を開始した場合の通勤・住居手当の支給額と支給開始月を求めてください。なお、これに係る届出は15日以内にされているものとします。（参考：通勤手当認定マニュアルP5-1、P7、P10、住居手当認定マニュアルP7、P10）

通勤手当額 9,300円

支給開始月 令和 3年 8月

（事実発生日：令和3年7月2日）

住居手当額 27,000円

支給開始月 令和 3年 7月

（事実発生日：令和3年7月1日）

家賃額が月額23,000円以上となるため計算式は

$$(56,000 - 23,000) \times 1/2 = 16,500$$

ただし、計算後の金額は16,000円が上限となるため、

$$16,000 + 11,000 = 27,000$$

- 2 以下の場合の通勤手当の支給単位期間と支給単位期間あたりの支給額を求めてください。（参考：通勤手当認定マニュアルP8～9）

◆通勤方法 鉄道

◆片道の運賃：360円

◆定期券（通用期間6か月）価額：82,000円

◆回数乗車券（11枚綴）価額：3,600円

支給単位期間 6か月

支給単位期間あたりの手当額 82,000円

①定期券の1か月当たりの額

$$82,000 \text{円} \div 6 \text{月} \div 13,666 \text{円（円未満切捨て）}$$

②回数乗車券の1か月当たりの額（通勤21回分の運賃等の額）

$$3,600 \text{円} \div 11 \text{枚} \times 21 \text{回} \times 2 \text{（往復）} \div 13,745 \text{円（円未満切捨て）}$$

《比較》

$$\text{①定期券 } 13,666 \text{円} < \text{②回数乗車券 } 13,745 \text{円}$$

②回数乗車券より①定期券の方が安価となる。

3 特殊勤務手当に関する事務処理で正しいものをすべて選んでください。

(参考：給与等事務便覧 P91、92、93)

A 旅行命令を受け、6月12日(土)に合唱コンクールへ合唱部を引率した職員に部活動指導手当を支給した。×

旅行命令を受けた場合は勤務日となるので支給対象とならない。

B 修学旅行の引率をした教員及び校長に修学旅行等引率手当を支給した。×

校長は支給対象職員ではない。

C 2・3学年の生徒で編制された学級の担任が月22日勤務したとき、支給される多学年学級担当手当は6,380円となる。○

二つの学年の児童又は生徒で編制されている学級における手当の日額は290円である。

D 特別支援学級の担当職員について、月の勤務日が15日だったため特別支援教育手当として12,600円を支給した。○

特別支援教育手当の月額12,600円であり、月の勤務日が15日未満の場合は日額600円の支給となる。

C・D

4 職員が子を養育している場合の児童手当の1か月分の支給額を求めてください。なお、職員の所得金額は制限内とします。

(参考：講義資料 P14)

●職員 A 養育している子(17歳、14歳、13歳、10歳)

●職員 B 養育している子(19歳、16歳、8歳、3歳)

職員 A 35,000円

職員 B 25,000円

職員 A

17歳：第1子・支給要件児童にあたらぬ

14歳：10,000円(第2子・中学校修了前)

13歳：10,000円(第3子・中学校修了前)

10歳：15,000円(第4子・小学校修了前)

※職員 A の10歳、職員 B の3歳は、①3歳以上小学校修了前で、②要件児童3人目以降のため15,000円となる。職員 A の13歳は小学校を修了しているため、第3子であっても支給額は15,000円にはならない。

職員 B

19歳：児童にあたらぬ

16歳：第1子・支給要件児童にあたらぬ

8歳：10,000円(第2子・小学校修了前)

3歳：15,000円(第3子・小学校修了前)

5 配偶者のある職員が異動に伴い、以下のとおり単身赴任している場合の単身赴任手当の支給額を求めてください。(参考：給与等事務便覧 P39～44)

配偶者の住居(異動前の住居)－異動後の所属 距離： 95 km

配偶者の住居(異動前の住居)－職員の住居 距離： 105 km

38,000円

加算額は配偶者の住居と職員の住居の距離に基づき算定を行う。今回は距離が105 kmなので加算対象となり、支給額は38,000円となる。